

灯



今「品格」という言葉が流行語になってきているようだ。それは昨年度年間ベストセラーとなった『国家の品格』という本に起因している。聞けば今年になってもいまだに上位を占めるという。この本が売れ続ける原因は一体どこにあるのだろうか。

本の内容についてはさておき、タイトルの良さが売り上げに大きく貢献したのではないかとと思う。昨今の日本は殺伐としたニュースが毎日のように報道され、日本という国はこんなに情けない国だったのか、と嘆いている人が数多くいるのではなか。そんな時代背景を見透か

すような「品格」という言葉が多くの日本人の心をとらえたように思える。

そこには日本は「品格」のある国であってほしい、という願いが込められているのだと推測す

格

品



草野 義輔

「品格」という言葉の定義はなかなか難しいが、相通じる言葉として気品、気概、毅然（きぜん）、礼節などが思い浮かぶ。私流に一言でいえば「我慢する志」ということになる。本性むき出しでは身もふたもないし、眼前のことにあわてふためいては「品格」など持ちようがない。

「品格」というものは上着のように羽織ればそれで身につく、というのではなく、その人間の生き様が自然と内側から表に現れてくるものだと思う。振り返ってわが身を考えてと、平素の行動はさておいて「品格」のある自分でありたいと思っ

てはいるのだが。
(日田市昭和学園高校理事長)